

平成30年 2月

# 金山俊介 学位論文審査要旨

主査 吉岡伸一  
副主査 兼子幸一  
同 花木啓一

## 主論文

Childhood dietary intake: Comparison between anorexia nervosa and healthy leanness

(小児の食事摂取量：神経性やせ症と健康やせにおける比較)

(著者：金山俊介、酒井知恵子、青戸春香、遠藤有里、南前恵子、片山威、長石純一、  
花木啓一)

平成31年 Pediatrics International 掲載予定

## 参考論文

1. 小児期の神経性食欲不振症発症リスクに関する研究—小児用食行動関連質問紙  
による評価の試み—

(著者：金山俊介、青戸春香、遠藤有里、南前恵子、長石純一、花木啓一)

平成28年 小児保健研究 75巻 573頁～578頁

## 審 査 結 果 の 要 旨

本研究は、小児期・思春期の女子を対象に、食事歴法質問紙を用いた食物摂取量調査によって、徴候に共通点の多い神経性やせ症と健康なやせを区別できるかどうかを検証したものである。その結果、健康なやせ体格者が炭水化物の摂取を控えるのに対し、神経性やせ症患者は脂質の摂取を控え、また、亜鉛摂取量が低下するなどの特徴的な食行動を呈することが明らかとなった。本論文の内容は、保健学の分野で、神経性やせ症を小児期・思春期に発見するための有用な指標を提示したものであり、明らかに学術水準を高めたものと認める。